



明治5年から創立149年

浜っ子石田

学校の教育目標

☆向上心を持ち 高め合う子

◎ つも元気で やりぬく子

◎ んげんに考え くふうする子

◎ れとも仲よく 助け合う子

人権週間に思いを寄せて

教頭 四十物 真里

12月4日～10日は人権週間でした。人権とは何でしょう。簡単に言えば、「自分も大切、あなたも大切」ということです。本校でも、①違いを認める、②挨拶、③ほかほか言葉、④ボランティアを中心に日常的に取り組んでおり、人権週間では、いつもより少し深く人権について考える機会をもちました。

その一つが6日に行われたなかよし集会です。計画委員会が劇の中で、何が仲間はずれやいじめ、差別につながる行為なのかを問いかけ、分かりやすく伝えてくれました。「相手の気持ちを思いやる」「それぞれの違いを認める」ことを、全校のみんなに真剣に伝えようとしてくれた計画委員の子供たちの熱意が伝わってきました。

次にほかほか言葉です。11月・12月の生活目標「思いやりの心をもってなかよくしよう」に合わせて、各階に「ほかほかポスト」が用意されました。そこに入っていた「ほかほかたより」が、児童玄関にあふれています。「一緒に遊んでくれてありがとう。」「サッカーで1点取ったらナイスと言ってくれてうれしかったよ。」「…。1枚1枚から子供たちの笑顔が浮かびます。書かれた子供にとっても「私のこと見てくれていたんだ」「ぼくっていいところあるかも」と自分のよさに気付くきっかけになることでしょう。



そして縦割り班活動。これは子供たちの楽しみにしている本校の特色ある活動です。1年生から6年生までの縦割りの班で、長縄跳びやカルタ、風船バレーなどの遊びや運動をして、朝のほのぼのタイムのひと時を過ごします。先日は、2学期最後の活動と振り返りを行いました。異年齢による交流は、さまざまなメリットがあると言われてはいますが、本校においても学年の枠を超えた交流をする中で、「人と関わるのが好き」な石田っ子を育てています。

さて、子供たちはいつもより、「人権」について考えることができたでしょうか。ほんの少しでも自分や周りの人に対して思いを寄せ、優しくなることに意識を高めてくれたら嬉しいです。最後に「ほかほかたより」をもう一つ。

〇〇さんへ 「朝、毎日階段で挨拶をされていてよいと思います。これからもそうしてください。」

朝、こんな素敵な光景があることを、「ほかほかたより」から知りました。毎朝階段で挨拶を続けている子供も、その友達の様子をよさと認めている子供も「あなたのことを大切にしているよ」という感情が流れています。本校の子供たちの心に、人権意識が根付いていることに触れた瞬間でした。

